

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] メタボローム解析を用いた膵神経内分泌腫瘍の病態解明

[研究の目的]

膵・消化管神経内分泌腫瘍は病態の多様性に富んでおり、手術適応や治療薬剤の選択など臨床的に多くの課題が残されています。当院ではこれまで膵神経内分泌腫瘍に対して主要遺伝子に関連したタンパク発現がと再発と関連していることを報告しました。さらなる病態解明のため手術で採取した組織を用いて代謝物・代謝機構を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

対象となる患者さん

1996年9月30日から2022年12月31日の間に当院で膵・消化管神経内分泌腫瘍と診断され手術加療を受けられた方。

その内、メタボローム解析は2009年7月1日から2022年12月31日の間に、消化器外科で手術加療を受けられた方の検体を用いて行います。

加えて当院で2003年1月1日から2020年8月31日までに消化器外科で手術加療を受けられた膵臓癌または大腸癌の患者さんを対象に行った『メタボローム解析による膵癌術前化学放射線療法における治療抵抗性の病態解明』の研究の内、膵癌患者さんに対して行ったメタボローム解析結果も比較評価対象として使用します。

利用する検体・情報

検体：手術で採取された組織

情報：患者背景、診断名、年齢、性別、併存疾患、身体所見、治療内容・検査結果(血液検査、画像検査、病理診断結果、等)、手術時の摘出標本、手術後の経過(再発の有無、生存期間)

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する当施設所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の共同研究機関へ提供します。

[研究組織]

この研究は、香川大学を主幹機関とする多機関共同研究として実施します。

<研究代表機関及び研究代表者>

香川大学医学部附属病院 消化器外科 教授 岡野 圭一

<共同研究機関およびその機関の研究責任者>

慶応義塾大学 先端生命科学研究所 教授 曾我朋義

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科 担当医師 村上友将

電話 087-891-2438 (直通)8:30～17:15